

授業科目(ナンバリング)	地域スポーツ(CC212)			担当教員	末永 貴久		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	2年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
スポーツツーリズムコースの専門科目として、将来、地域社会において、スポーツに関わり、スポーツを通して地域の活性化に貢献できる人材となるために、知識を身につける。また、地方におけるスポーツ振興について、ディスカッションやグループワークの手法を使って、熟考し、政策提言することができる実践的な能力を身につける。							④⑤⑥⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標			評価手段・方法		評価比率	
専門力	地域社会におけるスポーツの実状を理解し、課題をみつけ、説明することができる。			・定期試験		20%	
情報収集、分析力	スポーツに関連する社会的課題を情報収集し、分析することができる。			・課題レポート①		15%	
コミュニケーション力	小グループでのディスカッションを通じて、スポーツの多様性を理解し、自分の考えを表現することができる。			・グループディスカッション		15%	
協働・課題解決力	スポーツを学ぶ学生としてふさわしい態度で、他人の意見を傾聴しながら、意欲的に授業に取り組むことができる。また、スポーツに対する様々な見方、考え方を理解することができ、他人と協調でき、自分の考えをまとめ表現することができる。			・授業態度・授業への参加度 ・課題レポート②		15% 15%	
多様性理解力	スポーツの多様性について理解することができる。			・定期試験		20%	
出席				受験要件			
合計				100%			
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
課題レポートは2回実施し、それぞれの提出状況やレポート内容を評価する(評価比率各15%)。グループディスカッションは、ディスカッションへの参加態度や発言内容にて評価する(評価比率15%)。定期試験は筆記で実施する(評価比率40%)。また、授業態度・参加度(評価比率15%)を含め総合的に評価する。なお、課題レポートとグループディスカッションに関しては、ポートフォリオで適宜フィードバックし確認する。							
授業の概要							
本講義における大きなポイントは以下の2点に絞られる。 1. 地域スポーツの現状とスポーツ振興方策について学習する。 2. 総合型地域スポーツクラブの機能と役割について学習する。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教科書・参考書							
教科書：特になし。講義内において適宜プリントを配布する。参考書：特になし。 指定図書：「スポーツ地域マネジメント」2020 原田宗彦 株式会社学芸出版社							
授業外における学修及び学生に期待すること							
地域スポーツの現状と意義を理解し、地域に積極的に関わるきっかけを作ってほしい。特に佐世保市や、もしくは自身の出身地などのスポーツ振興の状況は必ず把握すること。また、新聞や各メディアに掲載されているスポーツ関連記事に興味・関心を持ってほしい。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	地域スポーツの現状とスポーツ振興方策①	スポーツと地方創生という観点から、行政の関わりや超高齢化を踏まえた、スポーツ地域まちづくりの仕組みづくりのあらましを理解させる。	予習：本学図書館から地域スポーツに関する本を1冊借りて読んでおく。 復習：スポーツと地方創生を確認する。
2	地域スポーツの現状とスポーツ振興方策②	地域の現状と、地域が直面する課題についての認識を深める。	予習：スポーツ振興に関する資料をしらべてくる。 復習：スポーツ振興について確認する。
3	地域スポーツの現状とスポーツ振興方策③	地域に必要なマーケティング的発想や自立した地域スポーツ事業、そしてスポーツの可能性について説明する。	予習：スポーツマーケティングについて調べてくる。 復習：スポーツの可能性について確認する。
4	地域スポーツの現状とスポーツ振興方策④	プロスポーツが地域で担う新たな役割について、スポーツホスピタリティーの観点から説明する。	予習：プロスポーツと地域について調べてくる。 復習：プロスポーツが地域で担うべき役割について確認する。
5	地域スポーツの現状とスポーツ振興方策⑤	これからの日本の地域におけるスポーツツーリズムの新しい展開について、事例を説明しながら理解する。	予習：スポーツツーリズムの意味を調べる。 復習：スポーツと文化と観光が融合する可能性を確認する。
6	地域スポーツの実際① 地域におけるスポーツクラブとしての「スポーツ少年団」	地域スポーツの現状を、行政や団体が主導する観点から紹介、説明する。 スポーツ少年団育成のねらいと、それを核とした総合型地域スポーツクラブの可能性を説明する。	予習：地域スポーツと行政の関係を調べる。 復習：行政や団体主導の課題を確認する。
7	地域スポーツの実際②	高齢者の地域スポーツについて、介護予防事業への指導者としての関わりを含めて理解させる。	予習：高齢者介護予防事業について調べる。 腹習：高齢者の地域スポーツおよび指導者の関わりについて確認する。
8	地域スポーツの実際③	地域、スポーツクラブ、クラブチームの具体例を紹介する。特に全世代を対象としたスポーツ振興について紹介する。	予習：スポーツクラブと地域について調べる。 腹習：様々な世代のスポーツ振興について確認する。
9	出身地のスポーツ振興について（課題発見）	自身の出身地における地域スポーツの状況を把握し、課題をみつけること。	予習：自分の出身地について基礎データを調べてくる。 腹習：地域スポーツの課題についてまとめる。
10	出身地のスポーツ振興について（課題解決）	自身の出身地のスポーツ振興の状況を把握し、課題をみつけ、解決方法を探る。レポート課題。	予習：自分の出身地のスポーツ振興の課題に対するアイデアを予習してくる。 予習：自分の出身地のスポーツ振興を確認する。
11	総合型地域スポーツクラブの実際①	総合型地域スポーツクラブの必要性和社会的意義 総合型地域スポーツクラブの事例紹介①	予習：佐世保市内で興味のある総合型地域スポーツクラブを調査してくる。 復習：事例①の総合型地域スポーツクラブについて確認する。
12	総合型地域スポーツクラブの実際②	総合型地域スポーツクラブの必要性和社会的意義 総合型地域スポーツクラブの事例紹介②	予習：長崎県内（佐世保市外）で興味のある総合型地域スポーツクラブを調査してくる。 復習：事例②の総合型地域スポーツクラブについて確認する。
13	総合型地域スポーツクラブの実際③	総合型地域スポーツクラブの必要性和社会的意義 総合型地域スポーツクラブの事例紹介③	予習：九州圏内（長崎県外）で興味のある総合型地域スポーツクラブを調査してくる。 復習：事例③の総合型地域スポーツクラブについて確認する。
14	総合型地域スポーツクラブの実際④	総合型地域スポーツクラブの必要性和社会的意義 総合型地域スポーツクラブの事例紹介④	予習：全国で興味のある総合型地域スポーツクラブを調査してくる。 復習：事例④の総合型地域スポーツクラブについて確認する。
15	出身地の総合型地域スポーツクラブについて	自身の出身地の総合型地域スポーツクラブの状況を調査する。レポート課題。	予習：自身の出身地の総合型地域スポーツクラブの状況を調べてくる。 復習：自身の出身地の総合型地域スポーツクラブをまとめる。
16	定期試験	試験	試験の準備学修 試験の振り返り